

第 11 回（2026 年度）認定管理栄養士・認定栄養士の認定にかかる審査の実施要項

1. 認定にかかる審査の手続きについて

目的

この要項は、認定管理栄養士並びに認定栄養士の制度に関する規則に定める認定を行うため、2026 年度における手続きについて定める。

なお、今後、運用については順次改訂をしていくこととする。

2. 認定の流れ

認定管理栄養士・認定栄養士の認定にかかる審査は、①申請書類の確認：資格審査（書類審査）、②一次審査（オンライン試験）、③二次審査（事例報告の考査）により可否を判定します。

日 程	申請者	都道府県栄養士会	日本栄養士会
2026 年 1月	・「認定にかかる審査の実施要項」の確認、申請準備		・「認定にかかる審査の実施要項」の掲載(日本栄養士会雑誌、日本栄養士会 HP)
2026 年 4月6日(月)～ 4月20日(月)	・審査に必要な書類の提出 ・審査料の振込 ※オンライン申請	・申請者リストの受理	・申請書類の確認：資格審査（書類審査） ・審査料振込の確認
5月予定	・資格審査(書類審査)の結果受理 ・受験案内の受領	・資格審査(書類審査)結果 ・リストの受理	・キーワード集の掲載(日本栄養士会 HP) ・受験案内送付
6月28日(日)	一次審査(オンライン試験)		
7月下旬予定	・一次審査可否の結果受理	・一次審査可否結果受理	・一次審査可否判定
8月～12月			二次審査(事例報告の考査)
2027 年 1月下旬予定	・二次審査可否の結果受理	・二次審査可否の結果受理	・二次審査可否判定
2月下旬	・認定登録手続き(認定料の振込)	・認定管理栄養士・認定栄養士の認定者リストの受理	・認定料振込確認 ・認定管理栄養士・認定栄養士の認定、名簿への登録
4月1日	・認定証の受理		・認定証の交付
6月予定	・第 11 回認定管理栄養士・認定栄養士の公表		
2031 年	資格の更新		更新審査
→ その後、5年ごとに更新			

3. 審査のための申請資格

認定管理栄養士・認定栄養士の審査を申請する者は、2026年3月末日時点において、次の各項に定める資格をすべて満たしていることが必要です。

※審査申請資格を有していることが確認できない場合、申請を受け付けることはできません。

- ① 日本国の管理栄養士・栄養士の免許を有していること。
- ② 管理栄養士・栄養士としての実務経験が積算5年以上であること。
- ③ 基幹教育において2021年度から2025年度の間、60単位以上の単位を取得していること。
基本研修で30単位（うち必須20単位）、実務研修で30単位（臨床栄養分野は40単位）以上の単位を取得していること。
※単位付与を認めた他団体での研修会参加は、実務研修単位に含め、15単位（臨床栄養分野は20単位）を上限とします。
※認定申請する分野において5年以上の実務経験のある者は、基幹教育の単位に加え自己研鑽による単位の取得が可能です。詳細はp.3をご確認ください。
- ④ 受講した研修や日々の業務より、年に1テーマ以上のキャリアシートを作成していること。
※2022年度にキャリアシートの様式を変更しています。2022年度以前に作成された旧様式のキャリアシートを含む場合は、年5テーマ以上の提出が必要です。詳細はp.3をご確認ください。
- ⑤ 申請する分野の「栄養の指導」に関する学会等（地方会、研究会も含む）での発表を1回以上、かつ学会に3回以上参加していること。

4. 審査のための申請書類（オンライン申請）

日本栄養士会にて審査資格の有無を判定します。

＜申請登録事項＞

- ・氏名、住所、勤務先等の会員情報
- ・養成校卒業後の履歴（実務経験がわかるよう記載）
- ・認定を申請する分野の自己評価表（概ね「Ⅲ」であること） p.9 参照

＜アップロードする申請書類等＞

申請画面を確認の上、以下の書類をアップロードしてください。

（1）管理栄養士または栄養士免許証の写し

認定を希望する資格区分の免許証（写し）を提出すること。

なお、管理栄養士の資格を有する者は認定管理栄養士とし、栄養士の資格のみを有する者は、認定栄養士とする。

（2）キャリアシート（p.10）

合計5枚以上提出すること。（1年に1テーマを目安）

※2022年度にキャリアシートの様式を変更しています。2022年度以降の記録は、新様式にて1年に1テーマ以上として提出してください。2022年度以前に作成の旧様式のキャリアシートを含む場合は、1年に5テーマ以上を目安に必要な枚数を提出してください。

（3）基幹教育（60単位以上、臨床栄養分野は70単位）単位取得の記録

2021年度から2025年度の間として、以下のA①、A②がわかるものを提出すること。

なお、認定を申請する分野において 5年以上の実務経験のある方はA②に代わり、B②がわかるものの提出を認めます。

A①：基本研修項目で「必須」と定められている講座20単位を含め、基本研修で取得した単位の合計が30単位以上

A②：実務研修で取得した単位の合計が30単位以上（臨床栄養分野は40単位以上）

※単位付与を認めた他団体での研修会参加は、実務研修単位に含め、15単位（臨床栄養分野は20単位）を上限とします。

B②：実務研修もしくは自己研鑽による単位30単位以上（臨床栄養分野は40単位以上）

※単位付与を認めた他団体での研修会参加は、実務研修単位に含め、15単位（臨床栄養分野は20単位）を上限とします。

＜自己研鑽による単位の換算方法＞

内 容	単 位
学会参加（参加証の写し） （地方会、研究会、各都道府県の栄養改善学会等も該当）	2 単位
学会・研究会での発表（抄録の写し） （ポスター発表・全国栄養士大会での示説発表も該当）	発表者 10 単位 連名 2 単位
講演会・研修会の講師（プログラム・委嘱状の写し）	1 講演 5 単位
大学での非常勤講師（本務者は除く）（シラバスの写し）	1 科目 5 単位
シンポジスト・パネリスト・座長	5 単位
学術論文 ※査読付き（写し）	筆頭 30 単位 共著 5 単位
実践報告 ※査読付き（写し）	筆頭 15 単位 共著 2 単位
機関誌、本、雑誌等	↓以下に分類
雑誌（写し） ※コラムや感想など 2000 字以下は対象外	筆頭 10 単位 共著 2 単位
著書（写し） （「章」を単独で担当している場合も該当）	筆頭 20 単位

※基幹教育（基本研修・実務研修）の取得単位数は、日本栄養士会ホームページのマイページ内、「会員メニュー」＞「生涯教育単位」＞「基本研修単位の確認」および「実務研修単位の確認」からご確認いただけます。

※上記でご確認いただける取得単位と、新しい研修管理システム（manaable）での取得単位をあわせた申請も可能です。

※取得単位数が要件に満たない場合、2026 年 12 月末までの取得見込みとして申請が可能です。その場合は、申請書類とあわせて「2026 年生涯教育研修会受講計画書（任意様式）」を作成し、提出してください。

- （４）認定を申請する分野の「栄養の指導」に関するテーマの事例報告（認定管理栄養士申請者のみ）申請する分野に必要な事例数を提出すること。

※様式は、日本栄養士会ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.dietitian.or.jp/career/generalist/documents/>

※なお、個別の事例報告に際しては、所属長あるいは対象者の許可を得てください。

【３事例提出する分野】

「臨床栄養」「健康・スポーツ栄養」「地域栄養」

【２事例提出する分野】

「学校栄養」「給食管理」「公衆栄養」「福祉栄養（高齢・障がい）」「福祉栄養（児童）」

※「認定栄養士」として申請をする方は事例報告の提出は必要ありません。管理栄養士免許取得後に「栄養の指導」に関する事例報告・レポートを提出し、審査に合格することで「認定管理栄養士」として認定します。

(5) 認定を申請する分野の「栄養の指導」に関する学会発表の記録（抄録・講演要旨の写し）

※必ず公に配布（作成）された抄録集（要旨集）の写しを提出してください。個人が提出用に保存している内容の提出は記録として認めません。

(6) 参加した学会の参加証の写し

5. 審査申請書類の提出

(1) 受付期間

2026年4月6日（月）～4月20日（月）

※受付期間内に申請を完了してください。

※受付期限の過ぎた審査申請書類は受け付けられません。

※審査申請書類に不備がある場合は、審査は受けられません。

(2) 提出方法

日本栄養士会ホームページの「マイページ」よりオンラインによる提出

＜日本栄養士会ホームページ「マイページ」からの提出方法＞

a. 日本栄養士会ホームページよりログインします。

b. マイページの「会員メニュー」内、「資格」から「認定・更新の申請」をクリックすると、資格申請ページへ移動します。



c. 「各種手続き」から「認定管理栄養士・栄養士」の申請を進めてください。

6. 審査料の支払

(1) 審査料：22,000 円（税込）

なお、（公社）日本栄養士会の会員以外の方は 55,000 円（税込）となります。

(2) 支払方法

クレジットカード決済

オンライン申請の各登録完了後、決済画面に遷移します。

(3) 注意事項

- ・支払いに係る手数料は申請者の負担となります。
- ・万が一、提出書類の不備等により、審査が受けられなくなった場合には、既納の審査料は事務手数料を差引かせていただいた上で、返金（振込手数料は申請者負担）します。ただし、手続きに数か月かかることをご了承ください。
- ・審査料を支払い後、自己都合により審査を辞退した場合は、既納の審査料は返還しません。

7. 資格審査（書類審査）結果の通知について

資格審査（書類審査）結果の通知：2026 年 5 月予定

※提出していただいた書類を審査した後、「資格あり」と判定された場合は 5 月を目途に申請者へ日本栄養士会事務局より一次審査（オンライン試験）について案内します。

8. 一次審査（オンライン試験）

(1) 日時：2026 年 6 月 28 日（日） 13：00～14：00（受付 12:00～）予定

(2) 形式

オンライン

※全体の申請者数により、試験時間を調整します。試験の詳細は、申請者本人へ連絡します。

(3) 試験内容

四肢択一 60 分

基本研修：20 問

認定分野：30 問 計 50 問

(4) 出題について

出題範囲は、管理栄養士・栄養士のミニマムスタンダードを問う基本問題と、各分野の到達目標について単独で実践できるレベル（Ⅲ）相当の知識や技術を評価する問題となります。

※各認定分野におけるキーワード集を、日本栄養士会ホームページに掲載しておりますので参考にしてください。

(5) 当日に必要な機器類及び書類

- ・Web カメラとマイクの環境が整った、ノート PC またはデスクトップ PC

- ・イヤホン、ヘッドホンまたはヘッドセット
 - ・インターネット環境
- ※その他、詳細は、受験案内時に申請者本人へ連絡します。

(6) 注意事項

受験の遅刻は、原則、認めません。

(7) 合否結果の通知について

一次審査（オンライン試験）の合否結果は、ご本人へ7月下旬（予定）に通知します。一次審査合格者は、提出済の事例報告の考査に入ります（二次審査）。

なお、一次審査不合格者は、審査は不合格となります。次年度以降、同様の流れで新たに認定審査申請の手続きを行ってください。

9. 二次審査（事例報告の考査）

(1) 審査方法について

申請時に提出された事例報告（各分野指定枚数）を、12月末までに事例考査委員が審査します。

(2) 審査結果の通知について

審査結果は、2027年1月末まで（予定）にご本人に通知します。なお、二次審査合格者には、同時に認定登録の案内をします。

(3) 再審査について

二次審査（事例報告の考査）不合格者は、翌年1回のみ一次審査（オンライン試験）が免除され、事例報告の再審査を受けることができます。二次審査結果通知時に同封される審査内容を確認し、所定の期限までに日本栄養士会へ事例報告を提出してください。再審査の受付については、結果通知時に案内します。

再審査料：11,000 円（税込）

なお、（公社）日本栄養士会の会員以外の方は 27,500 円（税込）となります。

10. 認定登録、認定証の交付

(1) 認定登録の手続きについて

審査結果に同封される案内に従い、手続きを行ってください。

認定料の振込期限：2027年2月末日（予定）

※認定料の振込期限は、審査の状況により変更となる可能性があります。詳細は、審査結果に同封される案内をご確認ください。

(2) 認定料：22,000 円（税込）

なお、(公社)日本栄養士会の会員以外の方は 55,000 円 (税込) となります。
認定料の振り込みをもって、認定登録の手続きが完了となります。

(3) 振込方法

詳細は、審査結果に同封される案内をご確認ください。

(4) 注意事項

- ・既納の認定料はいかなる理由があっても返還いたしません。
- ・払込手数料は申請者が負担してください。

(5) 認定証の交付

認定料の振り込み確認後、認定証を交付します。

(6) 認定者名簿の公表

認定者は、日本栄養士会雑誌および日本栄養士会ホームページに掲載します。

11. その他申請に関する事項

(1) 審査に関する情報開示

試験問題およびその解答、認定にかかる審査委員等については、一切公表しません。また、個人の試験得点の開示も行いません。

(2) 個人情報保護方針

「公益社団法人日本栄養士会 個人情報の保護に関する基本方針」に準じます。

(3) 問合せ先

審査・申請等に関するお問い合わせは下記の E メールにて受け付けます。

公益社団法人 日本栄養士会 生涯教育担当 shougai-kyouiku@dietitian.or.jp

※なお、緊急を要する場合には、電話で下記までお問い合わせください。

電話番号 日本栄養士会事務局 (生涯教育担当) 03-5425-6555

受付時間 月曜日～金曜日 (祝日を除く) 9:00～12:00 / 13:00～17:45

生涯教育到達レベルのチェック（申請画面イメージ）

生涯教育到達目標（臨床栄養）

到達レベル	レベルⅠ	当該項目を知っているが経験がない
	レベルⅡ	当該項目を指導下で実践できる（経験はあるが単独ではできない）
	レベルⅢ	当該項目を単独で実践できる
	レベルⅣ	当該項目を熟練し指導できる

大項目	内容	目標	経験年数における到達レベル				基本 研修 中項目 番号	実務 研修 番号
			3年	5年	10年	15年以上		
専門職としての役割と倫理	職業倫理をベースにした態度や行動規範の理解	生命の尊厳を理解し、ふさわしい行動をとることができる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	1	
		医療職としての倫理規範を理解し、実践できる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		患者・障害者の権利やインフォームドコンセントを理解し、行動できる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		守秘義務について理解し、遵守できる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		管理栄養士・栄養士の職業倫理を自覚し、対象者に対してふさわしい行動をとることができる	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		専門職として常に自己研鑽によるキャリアをアップすることが重要であることを理解し、実践できる	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		対象者への適切な接遇ができる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		同僚や医療従事者と適切なコミュニケーションをとることができる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
	栄養士の組織と活動の理解	栄養士会組織の公益性を踏まえた活動を理解し、実践できる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		栄養士会を自らのキャリア形成や仲間づくり、情報収集に活用することが大切であることを理解できる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
		栄養士会の活動に参加し、仲間づくりができる	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		
	組織と人	組織の理念や機能を理解し、それを実現しようと努力することができる	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		
		組織の運営方針や理念に沿った部門目標の設定ができる	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

キャリアシート（新様式：2022 年度～）

会員番号	氏名	職域	経験年数	年
現在の自分（今どんな業務をしているか？どのくらいのレベルか？）				
将来（理想）の自分（なりたい姿、こんな管理栄養士・栄養士になりたい）キャリアプラン参考				
1 年後：				
2 年後：				
3 年後：				
今年度の目標・達成すべきゴール （理想の自分と現在の自分のギャップが課題であり、解消する手段が目標となる）				
取得したい分野の到達目標から選択				
1.				
2.				
3.				
目標達成のための具体的な研修計画と達成状況				
1. 研修名	受講日：	年	月	日
2. 研修名	受講日：	年	月	日
3. 研修名	受講日：	年	月	日
4. 研修名	受講日：	年	月	日
5. 研修名	受講日：	年	月	日

今年度の振り返り

記入日 年 月 日

目標達成状況	
研修で学んだこと	
実践の場で役に立ったこと・効果があったこと	
最も頑張ったこと	
目標達成できなかったこと・来年度の課題	

*日本栄養士会ホームページからダウンロードできます。また、この様式を参考に、各自で作成することもできます。ただし、指定の項目は全て入れてください。

基幹教育の単位取得の記録（イメージ）

< 基本研修 >

基本研修単位

2025年度 基本研修e-ラーニング研修会の取得単位は、研修管理システム「manaable」に反映されます（2025年内予定）。研修管理システム「manaable」にログインのうえ、ホーム画面をご確認ください。

研修管理システム「manaable」は[こちら](#)

2013年度～2025年度単位取得分の合計

取得単位数	3.0
うち必須単位数(重複を除く)	3.0

単位取得履歴

大項目	中項目	必須	形式	必須単位		取得単位数(年度)													
				講義	演習等	2025	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	
1.専門職としての役割と倫理観	1-1.専門職としての役割と倫理観	必須	講義	1.0															
2.食と栄養に関する基礎知識	2-1.国民の健康の増進の総合的な推進	必須	講義	1.0															
	2-2.栄養の総論	必須	講義	1.0															
	2-3.細胞に基づいた栄養管理	必須	講義	2.0															
	2-4.栄養（食物）と医薬品の影響		講義																
	2-5.栄養素の消化と吸収（代謝）	必須	講義	1.0															
	2-6.保健機能食品と栄養成分表示制度		講義																
3.食事管理プロセス	3-1.対象者の把握		講義																
	3-2.栄養食事基準																		
	3-3.食品構成		演習																
	3-4.献立計画																		
	3-5.実施献立（調理・盛付・配膳・食料管理）		講義																
	3-6.献立評価、食事管理の改善																		
	3-7.衛生管理		講義																
	3-8.感染対策																		
4.栄養ケアプロセス	4-1.栄養ケアプロセス	必須	講義	1.0															
	4-2.栄養スクリーニング		講義																
	4-3.栄養アセスメント		講義																
	4-4.栄養診断	必須	講義	4.0	※3.0														
	4-5.栄養診断にもとづいた管理計画（栄養介入）	演習																	
	4-6.個人を対象とした栄養指導（栄養介入）		講義																
			演習																
	4-7.集団を対象とした栄養指導（栄養介入）		講義																
	4-8.栄養指導時に必要な献立と調理（栄養介入）		講義																
	4-9.栄養管理のモニタリング・再評価	必須	講義	1.0	1.0														
			演習																
	4-10.栄養管理記録	必須	講義	1.0	1.0														
		演習																	
5.リスクマネジメント	4-11.チーム（多職種）による栄養管理	必須	講義	1.0															
	4-12.地域連携	必須	講義	1.0															
	5-1.栄養管理のリスクマネジメント		講義																
	5-2.給食管理のリスクマネジメント																		
6.非常時の緊急体制	5-3.食物アレルギー		演習																
	6-1.非常時の食事提供		講義																
7.調査研究	7-1.研究方法・研究発表		講義																
			演習																
8.関連法規	8-1.栄養関連法規																		
	8-2.ライフステージと栄養関連法規		講義																
	8-3.その他																		
9.その他	9-1.その他		講義																
			演習																
大項目	中項目	必須	形式	講義単位	演習等単位	2025	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	
小計																			

※ 4.栄養ケアプロセスの「中項目」4-2～4-5の講義は、各中項目を1単位として実施し合計4単位となります。演習「※3単位」は、各中項目ごとに行うのではなく「4-2栄養スクリーニング」→「4-3栄養アセスメント」→「4-4栄養診断」→「4-5栄養管理計画」までの4つの項目を総合的な演習として開催します。

基幹教育の単位取得の記録（イメージ）

＜実務研修＞

実務研修単位

2013年度～2025年度単位取得分の合計

分野未指定(総取得単位)

▼

取得単位数

51.0

単位取得履歴

<

>

科目	項目	形式	取得単位数（年度）												
			2025	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013
生活習慣病の発生予防と重症化予防	21 101	講義		1.0											
病態栄養	23 101	講義	5.0	1.0	5.0										
	23 102	講義		1.0											
	23 103	講義		1.0											
	23 104	講義		1.0											
	23 105	講義	1.0												
	23 106	講義		1.0											
	23 107	講義	2.0	1.0											
	23 108	講義		1.0											
	23 109	講義		1.0											
	23 110	講義		1.0											
	23 111	講義		1.0											
摂食・嚥下機能	23 118	講義	1.0	1.0		4.0									
認知症	23 119	講義		1.0											
排泄	23 120	講義		1.0											
COPDとサルコペニア	23 121	講義		1.0											
フードサービス	30 104	講義		1.0											
食材料管理	35 102	講義		1.0											
衛生管理	37 101	講義		1.0											
栄養評価（アセスメント）	43 102	講義	1.0												
	43 202	演習	1.0												
栄養ケアプランの作成	46 104	講義				1.0									
医療安全管理	50 101	講義		1.0											
院内感染対策	50 104	講義		1.0											
福祉関連法規、制度の理解	80 103	講義		1.0		2.0									
全分野共通	90 110	講義		1.0	6.0										
科目	項目	形式	取得単位数（年度）												
			2025	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013
小計			11.0	22.0	11.0	7.0	0.0	8.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0

申請する分野の事例報告（例）

作成日 年 月 日

栄養管理事例報告（〇〇〇〇分野）

所属栄養士会：	都・道・府・県	事例番号：
会 員 番 号：		事例報告：新規提出・再提出・
勤務施設名：		症例介入：主担当者・副担当者・
提出者氏名：		介入期間： 年 月 日～ 年 月 日

<対象者（患者）情報>

<介入に至るまでの経過（栄養管理開始までの経過）>

<栄養スクリーニングの状況（多職種からの紹介状況も含める）>

P

Mx)
Rx)
Ex)

S：Subjective data（主観的データ）、O：Objective data（客観的データ）、A：Assessment（評価）、P：Plan（計画）
Mx：Monitoring plan（モニタリング計画）、Rx：therapeutic plan（栄養治療計画）、Ex：educational plan（栄養教育計画）

人を基本とする）